

平成30年度  
財政援助団体監査報告書  
(第1回)

大館市監査委員



30 監 発 第 32 号

平成 30 年 11 月 12 日

大館市監査委員 長谷部 明 夫

大館市監査委員 佐 藤 英 夫

大館市監査委員 小棚木 政 之

## 財政援助団体監査の結果について（報告）

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づき平成 30 年度の財政援助団体監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果を次のとおり報告する。

# 目 次

1	監査の期間	1
2	監査の対象団体等	1
3	監査の事項	1
4	監査の方法	2
5	監査の結果	2

## 団体別の監査結果

	大館能代空港利用促進協議会	3
	大館能代空港利活用大館地域推進会議	6
	ベースボールクリスマス2017in秋田実行委員会	8
	宗教法人 北鹿ハリストス正教会	10

# 平成30年度財政援助団体監査報告

## 1 監査の期間

平成30年10月9日から平成30年10月16日まで

## 2 監査の対象団体等

平成29年度における財政援助団体等(市が補助金等の財政的援助を与えたもの)の中から次のとおり抽出し、監査を実施した。

財政援助団体名	補助金等の名称	交付額	所管課名
大館能代空港利用促進協議会	大館能代空港利用促進協議会負担金	1,004,000円	移住交流課
大館能代空港利活用大館地域推進会議	大館能代空港利活用大館地域推進会議負担金	1,200,000円	移住交流課
ベースボールクリスマス2017in秋田実行委員会	ベースボールクリスマス2017in秋田開催補助金	3,000,000円	スポーツ振興課
宗教法人 北鹿ハリストス正教会	重要文化財維持費補助金	1,000,000円	歴史文化課

## 3 監査の事項

当該財政的援助に係る出納その他の事務の執行状況等について、次の点に主眼を置いて実施した。

- (1) 財政援助団体及び所管課の補助金等交付手続が、条例、規則、要綱等に基づき適正に行われているか。
- (2) 補助金等は、交付目的に従い適正に執行され、補助対象事業以外に流用されていないか。
- (3) 財政援助団体では、会計処理上の責任体制が確立され、補助金等に係る収支の会計経理は適正に行われているか。
- (4) 補助金等の効果は上がっているか。また、その検証は十分か。

## 4 監査の方法

所管課にあらかじめ提出を求めた監査資料及び補助金交付等の資料に基づいて書類審査を行い、必要に応じて関係職員から説明を聴取して監査を実施した。

また、財政援助団体についても提出を求めた監査資料等を審査するとともに、団体事務所に赴き補助対象事業の執行及び会計処理の状況について、会計諸帳簿等の照合、関係者からの説明の聴取により監査を実施した。

## 5 監査の結果

本年度の財政援助団体監査結果の概要は、次のとおりである。

- (1) 補助金等の交付手続は、条例、規則、要綱等に基づき、適正に行われていた。
- (2) 補助事業等はおおむね適正に執行され、補助金等は交付目的に従い適正に使われていた。
- (3) 財政援助団体の会計処理上の責任体制は確立されており、会計経理についてはおおむね適正であると認められた。
- (4) 補助金等の効果は上がっているものと認められたが、一部に事業の補助効果等の検証が十分に行われていないものが見受けられた。

なお、監査の過程で確認された軽微な不備事項等は、所管課及び団体に対し改善、検討を要望した。

以上が本年度の財政援助団体監査の結果である。

今日の厳しい市の財政状況のもとで、補助金等を担当する所管課においては、事業目的の公益性や必要性、補助効果等について十分な検討を行ったうえで交付決定するとともに、事業終了後は事業実績の評価・分析を行い、補助金等が最も有用に活用され補助効果が上がっているか検証を行われたい。

また、市全体で見ると補助金等の財政援助は年々減少しており、各団体においては十分とは言えないものもあると思われるが、市民のための公金が支出されていることを念頭に、より効率的、効果的に事業を実施し、事業目的の達成により市民生活の向上に寄与するものとなるよう望むものである。

以下、財政援助団体ごとの概要は、後述のとおりである。

# 大館能代空港利用促進協議会

## 1 補助金等の名称

大館能代空港利用促進協議会負担金

## 2 補助金等の交付額及び財源

1,004,000円（一般財源 1,004,000円）

## 3 実地監査日

平成 30年 10月 15日

## 4 補助金等交付根拠法令等

大館能代空港利用促進協議会規約  
(地方公共団体が任意で加入している各種団体に対する負担金)

## 5 補助等の目的

大館能代空港(以下、「空港」という。)の利用促進及び需要拡大を目的とする大館能代空港利用促進協議会(以下、「促進協」という。)の運営に係る経費を負担し、空港の活性化を推進することで、交流人口の拡大を図り、もって観光や企業誘致など地域の振興、発展に寄与することを目的とする。

## 6 事業の概要及び実績

空港の利用促進及び需要拡大を図るため、1. 全日本空輸(株)や国土交通省への要望活動事業、2. 冬期間の運賃助成、修学旅行時のバス代助成及び欠航時のアクセスバス・タクシー運行などの利用促進及び需要拡大事業、3. 促進協ホームページ「大館能代空港どっと混む！」更新や秋田犬によるお出迎えなどの空港PR事業、4. 航空貨物の維持と利用促進のための事業、5. イベントやキャンペーンへの参加などに加え、6. 主に県特別負担金により実施している旅行商品造成費助成事業や県外旅行会社への営業活動などの利用促進対策強化事業を実施し、結果として、平成29年度の空港利用者数は138,584人で前年度より7,067人増加している。搭乗率は61.1%で前年度より6.2%増加している。

## 7 事業収支の状況

大館能代空港利用促進協議会・一般会計

(収入)

科 目		決算額(円)
負担金	基本負担金	1,192,000
	事業負担金	3,192,000
	県負担金	2,600,000
繰越金	繰越金	1,558,135
雑収入	雑収入	225,041
当期収入合計		8,767,176

(支出)

科 目		決算額(円)
会議費	総会費	61,257
	会議費	3,108
事業費	事業活動費	6,938,414
事務費	旅費	228,058
	消耗品費	3,595
	印刷製本費	1,021
	通信運搬費	44,835
	人件費	652,365
予備費	予備費	0
当期支出合計		7,932,653

当期収入額 8,767,176 円 － 当期支出額 7,932,653 円 ＝ 次期繰越額 834,523 円

航空貨物維持・利用促進事業

(収入)

科 目		決算額(円)
繰越金	繰越金	1,199,304
ターミナルビル特別負担金	ターミナルビル特別負担金	7,350,000
一般会計繰入金	一般会計繰入金	100,000
雑収入	雑収入	12
当期収入合計		8,649,316

(支出)

科 目		決算額(円)
航空貨物維持・利用促進事業		8,313,251
当期支出合計		8,313,251

当期収入額 8,649,316 円 － 当期支出額 8,313,251 円 ＝ 次期繰越額 336,065 円

利用促進対策強化事業

(収入)

科 目		決算額(円)
県特別負担金	県特別負担金	18,300,000
一般会計繰入金	一般会計繰入金	186,003
当期収入合計		18,486,003

(支出)

科 目		決算額(円)
旅行商品造成費等助成事業		2,021,696
秋田犬の里旅行商品造成費等助成事業		6,499,552
民間事業者活用誘客プロモーション事業		2,000,864
レンタカー利用促進キャンペーン事業		1,477,608
ダイナミックパッケージ活用事業		5,000,448
営業活動事業		826,867
予備費		658,968
当期支出合計		18,486,003

当期収入額 18,486,003 円 － 当期支出額 18,486,003 円 ＝ 次期繰越額 0 円



## 8 監査の結果

監査した結果、負担金は所管課から適正に支出されており、促進協における事務処理も適正に行われ、収支決算額の計数は正確であると認められた。また、各種事業については促進協のこれまでの様々な取組により、空港利用者数は増加傾向にあり、平成 29年度も前年度から 7,067人利用客が増加し、交流人口が拡大していることから、促進協の目的に沿って行われていると認められる。

## 9 改善・検討を要する事項

### (1) 所管課

特に指摘を要する事項はないが、負担金の支出に当たっては、今後も引き続きその目的が明確であり、かつ公益上の必要性が十分かどうか、また経済性、効率性及び有効性といった観点から検証を行い、適正な支出に努められたい。

### (2) 交付団体

特に指摘を要する事項はないが、各種事業内容や収支会計状況について詳細な評価・分析に努められ、今後の事業運営に資するものとなるよう望むものである。

# 大館能代空港利活用大館地域推進会議

## 1 補助金等の名称

大館能代空港利活用大館地域推進会議負担金

## 2 補助金等の交付額及び財源

1,200,000円 (一般財源 1,200,000円)

## 3 実地監査日

平成 30年 10月 15日

## 4 補助金等交付根拠法令等

大館能代空港利活用大館地域推進会議規約  
(地方公共団体が任意で加入している各種団体に対する負担金)

## 5 補助等の目的

大館能代空港の利用促進及び需要拡大、並びに空港を利用した大館市の振興を図るため、行政、民間企業、その他の団体が一体となって活動を行うことを目的とする団体の運営にかかる経費として負担金を支出するもの。

## 6 事業の概要及び実績

利用促進事業及び需要拡大事業として、冬期間の搭乗率向上のため旅行商品への運賃助成、市民の翼参加者への運賃助成、大文字まつりやアメッコ市など各種イベントへの協賛による大館能代空港利用のPR、リムジンバスを利用した大館市の観光情報発信などの事業を実施している。また、大館能代空港の東京便 1日 2便枠の維持及び乗継便の拡大を求めて、全日本空輸(株)及び国土交通省への要望活動を実施している。

## 7 事業収支の状況

大館能代空港利活用大館地域推進会議・一般会計

(収入)

科 目	決算額(円)
負 担 金	1,335,000
協 賛 金	234,000
補 助 金	0
繰 越 金	499,348
雑 入	13
当 期 収 入 合 計	2,068,361

(支出)

科 目	決算額(円)	
事業促進費	要 望 活 動 費	44,663
	啓蒙普及活動費	1,540,885
事 務 費	会 議 費	1,370
	事 務 費	32,428
予 備 費	予 備 費	0
当 期 支 出 合 計	1,619,346	

当期収入額

2,068,361 円

—

当期支出額

1,619,346 円

=

次期繰越額

449,015 円

## 8 監査の結果

監査した結果、負担金は所管課から適正に支出されており、団体における事務処理も適正に行われ、収支決算額の計数は正確であると認められた。また、各種事業は大館能代空港の利用促進及び需要拡大、並びに空港を利用した大館市の振興を図るという目的に沿って行われているものと認められた。

## 9 改善・検討を要する事項

### (1) 所管課

特に指摘を要する事項はなかった。

### (2) 交付団体

特に指摘を要する事項はないが、各種事業については、大館能代空港利用促進協議会における事業との関連性や実施効果の検証、分析を行うなど、より効果的、効率的な事業の実施に努められるよう要望するものである。

# ベースボールクリスマス2017in秋田実行委員会

## 1 補助金等の名称

ベースボールクリスマス2017in秋田開催補助金

## 2 補助金等の交付額及び財源

3,000,000円 (一般財源 3,000,000円)

## 3 実地監査日

平成 30年 10月 12日

## 4 補助金等交付根拠法令等

大館市補助金等の適正に関する規則

## 5 補助等の目的

ニプロハチ公ドームの 20周年記念として開催される本イベントは、これからのスポーツ振興の中心となる役割を担う小学生、中学生に夢とやる気を与えることを目的としており、イベントの運営に補助を行うことにより市内外から多数の来場者が見込まれ、第2次新大館市総合計画に掲げる交流人口の拡大に寄与することが期待される。

## 6 事業の概要及び実績

本イベントはプロ野球 12球団の現役選手、OB選手、審判、プロチアリーディング等が参加する交流イベントで、北東北 3県の小学生、中学生とのキャッチボールや技術指導、地域の野球協会審判団への講習等を行い、スポーツ技術の向上が図られている。

また、トークショーや様々なアトラクションにより野球参加者以外のファンとの交流も行っている。

当初計画時の来場者見込み数が 5千人に対し、市内外から約 1万人の来場者があり、物品販売や飲食ブースも盛況で、市特産物のPR効果も高く成功裏に終了している。

## 7 事業収支の状況

(収入)

科 目	決算額(円)
市 補 助 金	3,000,000
県 補 助 金	1,000,000
(一財)大館市文教 振興事業団負担金	2,000,000
(一社)プロ野球 選手会負担金	4,000,000
協 賛 金	6,100,000
雑 収 入	290,062
合 計	16,390,062

(支出)

科 目	決算額(円)
謝 礼 金	20,000
旅 費	2,195,845
需 用 費	1,294,598
役 務 費	4,144,563
委 託 料	8,223,726
使用料・賃借料	295,330
原 材 料 費	216,000
予 備 費	0
合 計	16,390,062

## 8 監査の結果

監査した結果、補助金等交付事務は適正に行われ、事業も補助目的に沿い、ジュニア世代への野球の普及や市民のスポーツ振興に寄与していると認められた。

また、世代を問わず好評で来場者数が予想を上回り、市内宿泊施設での宿泊者数は前年同月比較で増加している。このようなイベントの開催は県内外からの来場者に対する市特産物や郷土料理のPR効果、更に地域への経済効果も高いため、本イベントに関連した企業などのスポーツ・文化合宿誘致へも効果が期待される場所である。

本市の第2次新大館市総合計画では「まちや暮らしのなかで市民が活躍し、次代を育む教育文化都市」、「暮らしやまちのなかに賑わいと交流を生む多文化交流都市」を目標に定めており、本補助金はスポーツ・レクリエーション活動の推進や交流人口の拡大の面において効果が高いと認められた。

## 9 改善・検討を要する事項

### (1) 所管課

特に指摘を要する事項はなかった。

### (2) 交付団体

特に指摘を要する事項はなかった。

# 宗教法人 北鹿ハリストス正教会

## 1 補助金等の名称

重要文化財維持費補助金

## 2 補助金等の交付額及び財源

1,000,000円 (一般財源 1,000,000円)

## 3 実地監査日

平成 30年 10月 10日

## 4 補助金等交付根拠法令等

大館市補助金等の適正に関する規則、大館市文化財保存事業費補助金交付要綱

## 5 補助等の目的

損傷著しい市指定文化財聖像画(イコン)を修復し健全な状態で後世へ伝え、市民の文化的向上、地方文化の進歩に貢献することを目的とする。

## 6 事業の概要及び実績

市指定文化財聖像画 19点のうち 6点の修復を行った。画面洗浄、充填整形、補彩等の処置により、汚れが落ち、剥離部分も補修され色彩も鮮やかになった。

これにより、市民が製作当時の美しい聖像画の姿を鑑賞することが可能となり、併せて今後また 100年の保存が期待される。

## 7 事業収支の状況

(収入)

科 目	決算額(円)
市 補 助 金	1,000,000
所 有 者 負 担 金	1,274,480
合 計	2,274,480

(支出)

科 目	決算額(円)
委 託 費	2,274,480
合 計	2,274,480

## 8 監査の結果

監査した結果、事業は補助目的に沿って行われており、また、出納その他の事務についてはおおむね適正に執行されていると認められた。

## 9 改善・検討を要する事項

### (1) 所管課

特に指摘を要する事項はなかった。

### (2) 交付団体

特に指摘を要する事項はなかった。